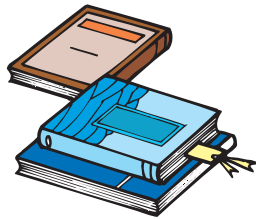


ほんの森

図書館 ☎ 84-3311



図書館休館日

9月4日(火) 毎週月曜日

開館時間の延長

8月中の平日のみ午後7時まで開館します。

日曜映画会

『ルーニー・テューンズと遊ぼう! バグズ・バニー』他1作品

日 時 8月19日(日)
午前10時・午後2時
上映時間 55分
場 所 2階ハイビジョンホール
定 員 各回120名
入 場 整理券(無料)を8月5日(日)から配布します。
ご希望の方は図書館カウンターまでお越しください。



金曜映画会

『ハリー・ポッターと賢者の石』

日 時 8月24日(金)
午後2時から
上映時間 2時間32分
場 所 2階ハイビジョンホール
定 員 先着100名
※整理券は不要です



文 芸

◆ 俳 句

嫁がせる心決め兼ね端居する 浅野 茂子
ふり向けば緑滴る安房の山 池田 逸子
山鳩の声を外底に夏の暁 伊藤 敬子
演歌々手背を向け急ぎ汗拭ひ 今関満喜子
極楽のガイドブックか蓮の花 魚地 照子
珈琲の香の沈みゆく梅雨の夜 江森 悦子
空梅雨や中干しの田の輝割る 川島 孝夫
朝の畑もぎたてトマト丸嚙り 川島 通則
棧上に笑顔でハンカチ振りし友 桑名 大行
父の日や静かに呷る独り酒 向後 寛
空一枚部屋いっぱい青田風 越川せつ子
紫陽花の粟の冠弾けけり 小松 藤男
浮島やさぎ波たてて蛇渡る 佐瀬 輝夫
快男子しようぶ湯に入る里帰り 宍倉 道子
一徹の夫夏瘦せて逆らさず 鈴木とし子

砂まぶす宝さがしの西瓜かな 玉虫 栗扇

梅雨明けや帽子の似合う母子連れ 土屋美枝子

木々渡る風の清しき落とし文 土屋 義昭

山家には山家のくらし夏炉たく 戸村 静華

山の宿バス待つ刻の夏炉かな 福田 幸子

冷奴するりと喉通りけり 布施 和代

ゆつたりと紫陽花ゆれて雨催ひ 丸山 照美

糸とんぼつれて来にけり千恵子の碑 山口 一秋

蝸蝸の小さき流れや子らのもの 渡部 和秋

◆ 短 歌

言ひ分けをしてしまひたる空しさに 独り聞きをり山鳩の声 吉岡 信子
池の辺に菖蒲の花の紫が ひとつ咲きあつ朝の日を受け 平山 芳子
折おりの花の絶えざる師のお庭 今桃色の撫子の咲く 池田 春江
晴れ渡る五月の空を一筋の 旗雲のゆく総の丘辺に 永藤 滋
軒先にさげ置く南部風鈴が 冴え冴えと鳴るそよ吹く風に 押尾 輝子
山肌を青一色に染め上げて あじさいの花咲き盛りあつ 鈴木まさ子
網戸より仰ぐ満月ほんのりと 十字架に似る光放てり 八角 三枝
滑走路離れし下は青き海 羽田の沖を船の行き交ふ 西山満里子
息と共にロシア美術展見に行きし 上野の森は何時にもぎやか 田崎 尚美
山峡を走る列車に聞ゆるは 葎切りならむ鳴き声しげし 長谷川正子
ひたすらに網張る蜘蛛を見てゐたり 順序正しく仕上げゆくなり 佐瀬 初音
見の限り青田となりし田の面を 風渡りゆく葉裏返して 芹川 初子
幼き日遊びし九十九里浜へ 五月の休みひとり出で来ぬ 島田ますみ
法を説き歩み抜かれし釈尊か 涅槃図に見る大きおみ足 斎藤つね子
Sの字に細き首たて白鷺は 青田の中にみじろきもせず 高梨 キヨ
快よき汗を流して草引けば ひとひらの雲初夏の空ゆく 土屋 好
懸命に東京特許許可局と 轉る声に活力受けり 安田 和子
同じ趣味心許せる友逝きぬ 病魔に勝てず惜しき人柄 伊藤 定男
終りなき女の仕事小夜更けて 乏しき頭髮に縫針掛つる 越川 義則